

# 新型コロナウイルス に関する緊急アンケート 第2弾

## 記述内容まとめ

---

Q 2-2 記述内容	
1. 衛生関連	
1	ヘルパーが利用するプラスチック手袋が2倍の値段になってしまい、経費がかかってしまう。
2	マスク
3	衛生用品が不足。購入額が高い。
4	使い捨て手袋等の入手困難
5	家族が首都圏から帰省した際、本人が感染した際も、ヘルパーとして入らざるを得ない状況にもかかわらず、感染予防用具等の支給が無い。
6	嘔吐などの時に対応できる使い捨ての防護服が全く手に入らず、コロナだけでなく、感染症がおきた時に対応ができず困っています。
7	マスクが不足している。実動員さんが取りに来られたが、在庫がなかった。
8	衛生用品が高くなり、感染予防も大変。
9	入居者負担としている介護用手袋が発注できない状況である。
10	商品が品薄で入手が難しいから。
11	防護服が手に入らない。
12	消毒用品（アルコール等）の物品が足りない。マスクの支給は多すぎて余っている。
13	衛生用品の不足が心配。
14	グローブ不足、高値である（経費がかかる）
15	アルコール・グローブ・うがい液・ペーパータオル等が以前のように購入できず品不足感はまだ感じている。
16	注文するが到着が遅れる。値段が高く経費がかかる。
17	グローブがどこにもなくて大変困っています。アクリル板すら事務所に用意されていない。
18	衛生用品関連の消耗の早さと確保の数が割り合わない。
19	マスク、グローブ、ガウンなど用品不足。
20	ビニール手袋などの不足が言われている。マスクも皆気を使って自分で購入して対応している。③人を入れて欲しいが、なかなか入らない。
21	プラスチックグローブやマスクの入手不足。
22	衛生用品の購入ができない
23	衛生用品の購入費用や購入が難しい状況。
24	実際に感染者がでた場合、保管しているマスクやガウンの数では不足。
25	ゴム手袋の値段が急騰していて安価なプラスチック製の物しか購入できない。
26	ディスプレイやマスクが不足。感染予防のため消毒や換気に使う時間。
27	マスク、ゴム手袋、除菌液などの不足。ヘルパーさんたちの精神的な疲れ。
28	全体的な問題ですが、消毒する物、グローブ、感染があった場合の防護品など購入が難しくなっている。（ペーパータオルなども）
29	マスク不足は解消されたが、次はプラスチック手袋が不足していて、あってもすごく高くなっている。
30	ガーゼやアルコール綿の購入に時間がかかっている。
31	各拠点で感染予防対策を行っているが、スタッフの身を守るような用品（フェイスシールドやパーテーションなど）の支給などは全くない。全社で統一した対応をしてほしいところである。今後再度感染が増えた場合も考え会社の負担でPCR検査してほしい。
32	グローブの不足が目立つ。あるいは高価。
33	マスクなどは支給を続けてほしい。消毒なども。
34	衛生用品、感染予防対策物品を発注しても届かない（予測よりはるかに遅い）
35	手袋の売り切れが多い。値上がりは仕方ないが、必要物品なので困っている。
36	ハンドソープ、アルコール、プラスチックグローブ、ハンドペーパー等いまだに品薄状態が続いている。ご家族から面談の強い希望があり、その対応の中でキツイ言葉もありメンタルが疲弊する。
37	マスクや手袋、使い捨て手袋を普段から使用するのに、コロナ感染広がってきてから更に入手困難となった。医療や介護現場には優先的に配布できるようにしてほしい。
38	マスクを自費で買っているため、金額がまだコロナの前より高く、毎日使うもので、利用者ごとに替える事もあるため困っている。
39	定期的にマスク、消毒用品が支給されると有難いです。
40	以前よりケア用品が手に入りやすくなったものの毎日使用することを考えると不足している。感染対策が足りない。どこまで対策しても不安は尽きない。
41	使い捨てのディスプレイグローブなどの消耗品の購入が滞っている。
42	ビニール手袋が値上がりして困っている。
43	いつ必要になるかわからない状況なので。防護服、フェイスシールドなどが準備できていない。
44	衛生用品不足、他業務の増加

Q 2-2 記述内容	
45	発注購入は出来るが、ムラがあり物品が無い時もある。本社担当部間の対応が遅い。発注可と出しているものが品切れてしまう。
46	マスクが十分に揃わない
47	ディスポの手袋が入手難しい
48	手袋等も不足が通づく、値上がりも続き困る。求人に対してもなかなか・・・人材不足がずっとです。
49	手袋・マスクの不足
50	不織布マスクをもっと送ってほしい。勤務のたびに交換ができるようにしてほしい。
51	希望の品が届かず代替品になることがある。
52	当初配布されたマスクがなくなってしまった。事務所にストックがほしい。
53	居宅にはありませんが、訪問介護の方でグローブの値段が高くなり、また、入らなくなりコーナン等安い所へヘルパーが走り購入している。又、訪問介護の方では、人員不足があり、職員の長時間労働や休日がきちんと取りにくい。
54	価格の高騰で経費的に困る（今までの価格希望）
55	手袋・マスクが不足して十分ではないので。
56	アルコール消毒液や手袋（ポリエチレンなど）の購入が難しくなっている。今現在コロナによって人員不足ではないが、もしコロナ等で感染者が出てしまうと人手不足になってしまう。
57	ペーパータオル、アルコール消毒液などの欠品。業務悪化による新規雇用の問題。
58	使い捨て手袋を注文したいが、在庫切れ。又、あっても高値になっている。
59	ゴム手袋価格の高騰。感染者が出てしまった時の事務所のイメージなどが心配。感染ルートがわからない、身近に来るかもしれない恐怖。
60	使い捨てエプロン不足。
61	ビニール手袋が発注してもない。
62	使い捨て手袋が不足しています。
63	コロナでなくても介護業務に必要なものが値上がりし、入手困難だったり色々な物が必要できりがありません。
64	デイサービスでお客様が使用するペーパータオルが品薄で入荷できない。
65	ゴム手袋が入手困難。
66	だいぶ良くなってきたが、マスクやディスポ・消毒液の納品が滞る事。。
67	ディスポが不足しているようで注文数に限りがあります。
68	マスクの価格が高くなっている。商品が入荷しない。
69	消毒液、マスク、ガウンの不足。
70	マスク、プラスチック手袋の値上げ。
71	手袋が高額だが感染予防を考えたなら発注は必須である。経費が通常よりかかっているが本社や支店はそれについて考慮しているか不明で不安である。
72	手袋が高すぎて困っています。
73	プラスチックグローブの品切れ、価格高騰。
74	プラスチックグローブが品薄です。
75	プラスチック手袋等手に入りにくく値段も高騰している。
76	アルコール・グローブやマスクが入荷しない時期があった。利用者宅で体温計が必要でも購入できない。県からエプロンは大量に支給されたが、キャップやゴーグル、シューズカバーはなく、濃厚接触者が出た段階で保健所より支給されるとのことでした。流行地域からの家族の往来時のたいおうに悩む。
77	サラヤ、ニトリルグローブソフトフィットの値上がりがエグイ。1700から3300に。今月からやめて安いのにしたが利用。
78	値段の高騰（特にディスポ）。
79	ガウンエプロン高額で購入しにくい。
80	消毒液は消耗品なので常にあることが必要
81	ゴム手袋が急騰している。マスクのように不足するかもしれない不安がある。い
82	一時ほどではありませんが、ガウン等がまだ品薄で必要な枚数が買えない時もありました。
83	マスク、消毒液、手袋の一時的注文も困難な事もある。会社からサポート的に送られる時もある
84	アルコール類やガウン等注文しても入荷してこない時が多く、発生時の備品が足りないことが予想されるため
85	厚労省や区からマスクばかりが送られて来るが、一番不足しているのはゴム手袋です。
86	グローブ欠品 Lサイズ
87	ビニール手袋、プラスチック手袋等の必要不可欠な衛生用品の価格高騰で経費がかかる。
88	マスクの支給がない（自腹で購入している）
90	必要な時に衛生用品がそろわなかった又、一度に同じものがどっと送ってきたりがある
91	ディスポの高騰
92	衛生用品がなかなか入ってこない状態でしたが、今は充実してきていますので、現在困っていることはありません。

Q 2-2 記述内容	
93	衛生用品購入費の負担と各メーカー等がない用品や不足分を管理者が市場で探して代替えを購入しています。日々の在庫管理にも神経を使っています。精神的にも負担です。
94	今は在庫あるが以前みたいに急に入荷困難になると困る
95	ディスプレイ等が不足し、大量に使うものの為、困っている。
96	衛生用品の値上げ
97	マスク・手袋が不足している。
98	手袋・マスクの品薄
99	まだ衛生用品が十分に用意できていない。
100	消毒剤、体温計が未だ不足。
101	マスク等の備品の価格高騰。
102	手袋の値段が上がりました。
103	手袋を注文しても在庫がないと言われ届かない。
104	価格高騰
105	マスク、使い捨て手袋などの商品の供給が安定しない、又は止まっている。感染予防対策に手間がかかる。
106	近ごろはさほど困っていません。
107	使い捨て手袋の価格高騰。利用者などへの販売で通常の3倍の価格になってしまい、クレームになりかけた。1箱800円ぐらいが1箱3000円ぐらいになりました。
108	使い捨て手袋の価格の上昇。
109	マスク、ディスプレイ手袋、ガウンの不足。
110	防護服関係が容易に手に入りづらい。
111	バイタル測定器具の不足。
112	マスク不足、手指や衣服の衛生管理。人員不足の為、休みを取りにくい
113	衛生用品
114	いつもグローブが品薄状態、独自ルートがあれば良い。
115	在宅系の職場には、会社からの支援が少ない。(マスクや消毒液の配布など)。
116	使い捨て手袋の価格があがってしまった。
117	市等から支給されたマスクの在庫がなくなりそうです。
118	手袋など衛生用品を頼もうとしたら、金額が以前と比べだいぶ高くなっている。
119	衛生用品が不足。購入するにも金額が以前より高くなっている、不足気味。購入できる様、月額で補助があれば助かります。
120	マスク、消毒液等の問題
121	衛生用品の値段が高い。医療資材を十分にに配備してほしい。
122	ペーパータオルの在庫確保。。
123	物品の価格が通常の3~4倍となり、現在も品薄状態のディスプレイグローブ、ペーパータオル水の確保が厳しい。。
124	今は落ち着きましたが、また衛生用品(消毒液やマスク)の不足にならないか不安です。
125	マスクを自費で購入しないといけないので負担になっている。
126	マスクやディスプレイグローブが足りなくなってしまうか不安がある。
127	使い捨て手袋、アルコールが不足、高騰している。ストレス発散ができない。
128	衛生用品関連は備品の入荷が滞るとご利用者さまに迷惑がかかってしまう。
129	マスクや手袋の手配が困難。金額が高い。
130	グローブ、ペーパータオルが注文できない、又は高くて困っている。
131	第3波に向けて衛生用品の不足が再び生じないか。い。
132	本当にマスクが市場から消えて困りました。今ではどこでも買える状況ですが、また不足する事があればと不安に思います。
133	衛生用品が不足すること。
134	厚生労働省より布マスクは多量、余っているが、紙マスク、ゴム手袋等は不足している。
135	マスクは会社からも来るが自分の分は自分で用意している。消毒液もかばんにつけている。。
136	グローブが高い。
137	使い捨て手袋が不足しています。利用者様に不安感を与えてしまう(感染予防対策用の仕度)ことがあります。
138	消毒液の補充。訪問ができない。
139	衛生用品の品薄がある。
140	消毒液、マスク、手袋等物品の不足。オムツ等を居室に届けるなど今まで業者が行っていた業務の代行。
141	マスクやビニール手袋、消毒用のアルコールなど時期によって様々な物が足りなくなった。マスクの常時着用。どこにも出かけられない(職業的に)
142	消毒液やゴム手袋不足
143	出勤時にマスクが必要になり、出費が重大。

Q 2-2 記述内容	
144	とにかくプラ手袋が足りません。弊社ではポリ手袋で対応して欲しいと言われ何とかなっていますが、他社では自費で手袋を購入しているところもあるみたいです。業務に支障をきたしており、非常に困っています。
145	慰労金の入金が遅い。消毒エタノール、手袋、マスクがまだ通常購入ルートで購入できない。
146	感染予防対策のための衛生用品の欠品や値上がり。感染のリスクの高い提供先への不安、ストレス。
147	防護服、手袋等発注したが、まだ拠点に届かない。
148	手袋など備品が不足したり、値段が高騰してしまい、今後手に入らなくなる不安がある。
149	ディスポグローブ等不足。接触者の確認などで対象外の負担が増えている。
150	手袋などの購入が以前より難しくなっているので、困っています。
151	ビニール手袋の値段が高い、品薄。
152	衛生用品（マスクなど）が確実に購入できるか不安。マスク、手袋など今まで以上に購入している
153	マスク、手袋の支給が少ないので、自分で購入するが、費用がかさむ。訪問介護では利用者様は感染対策のマスクはほとんどでされていない。
154	プラスチック手袋など、人気の商品の在庫不足。価格が高い。
155	ディスポ不足
156	使い捨てのプラ手袋がなかなか購入できない。ネットで発注しても来ない時がある。
157	プラスチック手袋の値段が4倍以上にあがった。毎日使用するものでもあるし、コロナ感染症対策として2枚重ね等が必要になると経費が増えることになっている。
158	グローブの使用、コストが高くなっているのであまり使用の制限があると、仕事がしづらくなる。衛生面、自分自身を守れなくなる。
159	コロナ感染が増えるにつれ、マスクや消毒エタノールが品薄にならないか不安である。どのタイミングでPCR検査を受ければいいのか。
160	マスクが品薄で買えなかった。消毒液も同じく買えなかった。
161	必要な時に必要な物が買えない時がある。
162	手袋・消毒液の不足
163	早く測れる体温計が欲しい。
164	十分な物品が揃わない
165	衛生品が高くなっており、入手困難にならないか。全国的に第3波と呼ばれており、重点要注意地域になっていること。
166	マスク・消毒等店頭ですぐ買える様になったが値段が高い。
167	エプロンやマスク消毒薬等の物品不足に困った。
168	非接触の体温計をスタッフに一人1つ持たせて欲しい。利用者の検温に時間がかかります。使い回しも衛生的に良くない。
169	ディスポ（手袋）の使う枚数が多くなった。値段も高くスタッフにも使わないでとも言えない。
170	しっかり消毒出来ているか不安
171	タウバーやディスポ、アルコールの不足で注文ができない時がある。

Q 2-2 記述内容	
2. PCR検査関連	
1	利用者様の御家族が高熱が出たが、数日の内に下熱され病院に行き、PCR検査希望したが、熱が下がっていたので検査してもらえず、感染しているかわからずしばらく続いた。
2	PCR検査を受けていない状態で訪問する事。
3	PCR検査を経費で受けさせてほしい
4	利用者宅へ訪問へ行けない 利用者から訪問ヘルパーがPCR検査を受けるよう義務づけてほしいという意見があった
5	PCRが受けられる体制（必要なとき）。
6	PCR検査を介護職員は定期的に受けたい。
7	もしGHにお入居者にコロナを疑わせる症状が出たとしても、簡単にはPCR検査が受けられないのでは？または、どこに行けば良いのか不明な点が不安
8	検査を気軽に受けられたら良い。
9	PCRはすぐ受けられるのか？予定がくるわされすぎて困る。
10	濃厚接触ではないが同じ場所の離れたところにいる場合等、私達の職種に関してはPCR検査をしてもらいたい。
11	仕方のないことかもしれないが、「熱発⇒保健所連絡⇒PCR検査⇒結果判明」のサイクルで1週間くらいかかるのは運営上厳しい。
12	疑いなどでPCR検査を受けた方がいたりすると不安になる。新規を受けたくないというヘルパーがいる。
13	高熱が出た時に病院に行き、介護施設に勤務していると伝えたがPCR検査をしてもらえなかった職員がいて本人も周りも不安に思っていた
14	現在は社会的検査も開始になっているが、発熱しただけでPCR検査をしてもらえなかった。
15	いざという時PCRが受けられないので不安。人がたりなく休めない。
16	衛生用品、PCR検査 費用が高い。
17	PCR検査を自費ではなく会社負担で実施してもらえたらありがたい。検査して陽性が出たら会社に行けなくなる。収入がなくなる。子供が学校に行けなくなる等でPCR検査を受けない現状もありクラスターになりかねない。
18	PCR検査に関しては安心して仕事ができるようにできれば優先的に実施してほしい。
19	近隣で検査を受けられる体制にしてほしい。2高齢者を含めた介護職のPCR検査が必要だと思う。
20	発熱しても、PCR検査を受けられるまで日数がかかりすぎ、スタッフの休みで延びてしまう。
21	もし受けることになった時の負担金額が高い事。
22	病院からの受け入れ対応。ご利用者が熱があった場合はコロナの陽性の有無を確認したいが、病院判断、ご利用者様・ご家族の判断にてPCR検査を受けているのははっきりわからない状態での援助について、職員から不安な訴え続いている。
23	職員が体調不良でも主治医の判断での検査のため、検査必要なしと診断された場合、10日前後は勤務を休まなければならない、全く人出が足りない。
24	PCR検査関連では検査を受けてから結果が出るまでに時間がかかりすぎていえる。陰性であったとしても、検査を受けてから結果が出るまでに時間がかかるのでその間陽性者と同じ対応をするのが大変。
25	手袋が不足気味になっている。熱が出たスタッフが出た際、PCR検査をすぐに受ける態勢作り（しかし、熱が出ていないスタッフ全員にPCR検査は、賛成しない。陽性の場合の人員確保の難しさ）
26	PCR検査を受けたい気持ちはあるが、費用面等心配事がある・看護、介護関連で働いている職員のPCR検査費用を何割か負担出来ないものか
27	PCR検査体制が整っていない。（受けるためのハードル設定が高い）クの供給体制は落ち着いているが、研修などのリモート（ICT）活用が遅れているため環境の整備が必要。
28	少し熱や症状がある程度では検査が公費で受けられず不安。休むかの判断も難しい。
29	PCR検査までの時間が掛かる。
30	全スタッフに検査をしてほしい。
31	簡単にPCR検査が安価に行われれば、安心する材料になる。
32	5万円の一度だけでは、モチベーションが維持できない。常に全スタッフが、感染リスクの不安を訴えている。

Q 2-2 記述内容	
33	2高齢者を含めた介護職のPCR検査が必要だと思う。
34	PCR検査が必要な時（PCRの結果はあくまで2W前までに感染しているかの検査と解釈しているため）何度か検査が必要な場合自己負担ではまかないきれない。
35	熱があってもなくてもまだPCR検査はすぐに受けられない。
36	新入居者に対する検査が無く、心配なところがある。
37	滋賀県ではPCR検査を容易に受けられない。濃厚接触者のみと言ってもいいくらい。やはり訪問に携わっている者としては定期的でも検査を受けたい。
38	全介護員にPCR検査を受けたい。
39	PCR検査は受けたいが高額すぎてなかなか受けられない状態です。その中で日々利用者様と接しているので、精神的にまいってしまうところがあります。休日にも出歩けずリフレッシュできることは今は難しいです。
40	思うようなタイミングで検査ができないことがある。
41	自他共にPCR検査をもっと手軽に受け安心感を得たい。
42	退院される方や病院から入居される方はその病院でPCR検査を受けていただきたいがほぼ実施していただけない。
43	無症状感染しているのではないかと不安があります。定期的に検査を受ける体制が出来たらいいと思います。
44	PCR検査結果がでるまで、スタッフがその間休まないといけないためすぐ検査結果がでてほしい
45	PCR検査は未だに濃厚接触者と認められないと簡単には受けられない。陽性者と接触した場合、検査を受けないと安心して働いてもらえない。受けさせてくれる医者を探すのも大変な状況
46	PCR検査もスピーディーに行うのも難しい。自費になる等
47	現場でPCR検査をうけたが、利用者から感染する可能性があり、それによって、他利用者にうつる可能性があることが気になっています。
48	私用で東京へ行った場合、訪問などは1週間自粛していますが（出勤はしている）会社としての方針を示してほしい
49	PCR検査が公費で行われないケースでは自費（会社負担）で行っているが、検査機関が近くに無いので1時間ほど（片道）かかる。
50	PCR検査が実施される場合の結果までの期間中、陽性でも陰性でも自宅待機となる期間の介護サービスの手配。陽性になった場合はさらに困難。
51	マスク・手袋が不足している。PCR検査を行った際に濃厚接触者の洗い出し作業が必要。フロア対応の際に必要な人員が多く必要になる。
52	会社負担でPCR検査を受けさせてほしい。。
53	大人数が集まる施設系で、集団感染を防ぎたいのも分かるが、在宅系だって感染の危険は同じくある。PCRは定期的に受けることで感染拡大を防ぐようにできないのかと思う。
54	公費で職員全員が毎月PCR検査を行ってもらえるのか不安。
55	PCR検査が受けやすい環境で安心して働きたいと思っています。
56	PCR検査を受けにくい。
57	PCR検査を受けたい時に受けられない。県外へ行く際前後に受けれたら安心。
58	PCR検査を受ける医療機関が少ない。優先的に検査が実施出来たらよい。検査費用が高い
59	検査料金が高額な点となかなか検査を受けられない事です。
60	PCRの検査が自己負担であるとなかなか検査に行く機会がなく、結果ウィルスを広めてしまうのではないと思うから。
61	スタッフの安心をPCRというきんで感じてもらいたい。
62	PCR関連では診療所によって考え方、受け入れ体制が違いすぎて困る。
63	PCR検査に該当する職員を休ませなければならないため現場が混乱する。
64	PCR検査導入を希望しています。感染が広まらない為の方法を施設の中で行っていても国全体で感染が増えていると予防対策の意味がないと思う。
65	無症状者のPCR検査を早期に実施してほしい。
66	発熱による「疑い」の時にすぐに受けることができない。
67	全ての介護する人に公費にてPCR検査を受けられるようになってほしい。
68	PCR検査の実施。感染予防
69	PCR検査が手軽に受けられる体制づくり。予防対策・・・どこまですればいい？
70	PCR検査体制が確立されていない。
71	PCR検査体制がしっかりしていない。
72	濃厚接触者に接触した際に不安でPCR検査を気楽に無料で受けられるようにしてほしい。
73	PCRが唾液での検査を全員受けさせてほしい。（スタッフ）
74	コロナにかかった時にすぐに検査できるのか疑問
75	PCR検査を会社ですてほしい。

Q 2-2 記述内容	
3. 人員不足関連	
1	常に人材不足なので、1名でも自宅待機者が出たら回せない
2	体調不良の職員が出た場合に、コロナかどうかの判断が出るまで出勤できないので人員が不足する。
3	募集をかけてもこない
4	コロナ禍で人員不足が増加
5	ヘルパーの事業所での退職をケアマネが正しく見ていない。様子見をするといった返答が多く困る。
6	スタッフがコロナの件で、仕事にためらいがある。神経質になっている。
7	人員不足は常に。
8	人員不足⇒新たな非常勤がふえない。
9	直接コロナの影響ではないが、人員不足は切実です。影響があるとすれば、面接に来てもらえない、もらえにくい。
10	利用者様、スタッフの中に1人でもコロナがでると、その後の営業に影響があるのかが心配です。
11	面接すらこない状況
12	他事業所では対応困難になった利用者様が増えたから。
13	ぎりぎりの人員でなんとかシフトをうめているレベル。入居者様へのサービスのレベルを下げざるを得なくなってしまう。
14	非常勤ヘルパーの家族が、仕事を減らすように言われて、サービスに出る量が減り常勤者の負担になっている。
15	県外への訪問、来客があった場合（同居家族も）1wの出勤停止を指示される。仕事がたまる。人員不足になる。
16	人を入れて欲しいが、なかなか入らない。
17	人がたりなく休めない。
18	長崎エリアについては在宅サービスが中心のため新型コロナウイルスの影響でのサービス中止などはなく、デイサービスのお休みなどにより逆にサービスの追加がありスタッフ不足が発生している。
19	職員に感染者が出た場合の人員の確保。。
20	訪問介護では常に人員不足で1人が休むとケアが回らない。
21	新型コロナの影響かは定かではないが、もともと求人を出しても集まりにくかった人材が更に。
22	コロナに関わらず人員不足は深刻な問題です。
23	コロナのせいかはわかりませんが、チラシを折り込んでも反応なし。
24	他事業所では濃厚接触ヘルパーが入っていた代替えで依頼が来るが、人材不足の中で追加の依頼が厳しい。
25	ヘルパーの高齢化で身体介護に不安がある。コロナ予防で他県より家族が来県后、一定期間デイやショートに行けないとのことで、訪介の利用が単発であるため。
26	事務所にてコロナ感染が確認され、PCR検査、濃厚接触者の特定等で通常営業が中止されるため、ほかのサービスを手配して代替えをもって支援する必要がある。それが多くなり始めて困っている。どこもコロナで閉鎖的になっている。
27	新型コロナウイルスの感染が利用施設で起こり、その後再開されたが人員が揃わず閉鎖となってしまった。
28	仕事柄、感染の危険性の高いと思われる方もおり、採用の動きがないのかと思うこともある。また、スタッフさんのご家族が他県（主に東京）から帰省してくる年末年始は2Wお休みをしたいと言われてしまって困っている。
29	慢性的に人材不足。入社してもすぐにやめてしまう。
30	人材募集をしても集まらない。介護員の家族が複数の家を訪問するのを嫌がる。
31	訪問介護をしようとする職員が少ない。人材不足のためS責が休日働いている。人材不足のため精神的、肉体的に疲労有。
32	募集しても面接に来ない（こんなに来ないことはなかった）。スタッフの家族が県外にいと休んでもらう期間が長くなり、配置が大変になる（シフトの調整）。
33	感染予防で通院をスタッフで行くように言われているが人員不足で満足に行けない。ご利用者様がコロナで家族と会えずメンタルヘルスが心配である。
34	もしも濃厚接触者になったら仕事はどうなるのか。人材不足の中代替えの人員がいらない。今のところは影響はないが、今後はどうなるのか不安が大。
35	慢性的な人員不足
36	ヘルパー応募の減少
37	スタッフにコロナ感染者が万が一出してしまうとスタッフ不足でサービスに必ず支障が出ます。
38	パートさんは多いが、短時間の為、その後のフォローが大変である。・パートさんは急に休むことが有りフォローが大変である。
39	コロナの影響かどうか分からないが、人材不足
40	人材不足はコロナ前からも大きな問題なので。
41	新規をとっても訪問のスタッフが不足し、契約できない。
42	採用の募集をしているが、なかなか来ない。
43	ご利用者様が濃厚接触者に該当し、PCR検査をしているが、結果までの時間がかかるため、その間のサービスに対してヘルパー他不安をもつ。万が一感染者が発生した場合、代わりにサービスへ行けるスタッフが少なく対応困難になる。



Q 2-2 記述内容	
44	今はまだ疑いのあるヘルパーさんが短時間勤務のため差し支えなかったが、今後出てきた時にシフトが回せなくなるのかどうか不安がある。
45	物品ガウン等、人員足りずいざという時に対応出来るかが不安です。
46	センターの分割により一人一人の仕事量が多くなってきている。
47	面会制限をしているので、職員自身が感染してお客様に移してしまわないか心配。PCR検査や抗体検査をして万が一陽性が出たしまった場合の人員確保が難しいと思う。
48	退職者が増えて人員が少なくなっている（他の事業所も人員不足）
49	コロナの影響かどうか定かではないが、募集はしているものの、問い合わせがない。
50	ヘルパーさんが不足です。求人するも応募無し。
51	スタッフの家族が感染してしまうと途端に人員不足になる。
52	応募しても誰も入らず、ヘルパーも高齢の方がほとんどの為、やめていく方ばかりで困っている。
53	分割拠点の為、三人のみで働いている。
54	現在は、職員に感染者はいないが、今後陽性者が出た場合に運営に影響が出る。
55	血液検査の会社でも働いており、コロナに感染の可能性が高いため、という理由でスタッフが退社した。
56	普段より人員不足している。体調を崩す職員が一人でも出たら、人員配置が足らなくなる。コロナ疑いで、二週間休むとなれば、さらに現場が混乱する。
57	人員不足の中、急なキャンセルによるシフト調整が難しい。
58	コロナの影響というわけではなく恒常的に人材不足。コロナの影響で退院して在宅ケアの必要な方が増えており、新規依頼が多くなったが、人がいないので受けきれない。
59	消耗品の値段高騰、コロナの影響だけではなく慢性的な人手不足による休日出勤、残業が増えている。免疫力を高めるためにもヘルパーの十分な休息が必要である。
60	面接まで行った後でコロナが理由で断られることが続いている。
61	もともと人員が不足しているのに今後体調不良などでスタッフが休んだ場合、人員をどう確保すれば良いか不安
62	県またぎの移動でヘルパーの出勤制限がかかるとシフトに影響がある為
63	代替りの人員がいないので休めない状況
64	家族を含めて熱発時など出勤停止になった時の人員不足が心配です
65	コロナだけが理由ではないが、人員は常に不足している。また、コロナにより稼働をおさえるヘルパーもいる為、シフトが苦しい
66	少ない人数でサービスを行っている。もし一人でもかけたらと思うと心配である
67	コロナ禍で警戒するのでなかなかサービスを増やしてくれない方が多い
68	ヘルパー不足、罹患への不安
69	「少しの熱でも怖いから」と職員が欠勤する→人員不足になる。
70	夜勤回数が多い。
71	朝夕、土日祝勤務可能なスタッフ確保
72	人手が足りない為、変わりの人がいない為困っている

Q 2-2 記述内容	
73	土、日、祝日の出勤者数が少なく、平日より忙しいシフト作成時に作成者が楽なように作る為、偏りがあり、困る。役職のある者が楽をしていて下の者の扱いが雑過ぎる。優先順位を考えて動けていない。(特に役職あるもの)
74	ギリギリの人員の為、熱を発した職員が出ると負担が大きい。
75	人員不足(学校などの休みや時間短縮)
76	ダブルワーク先でコロナウィルス感染があり、濃厚接触者ではないが、感染を懸念し、仕事を2週間休んでしまう為、穴埋めが必要となる。
77	PCR検査(職員・入居者様)の報告確認、自宅待機による出勤調整。
78	スタッフで高熱があった場合の検査と人員不足。
79	介護職員、常勤が不足の為、派遣の方に依頼しています。
80	慢性的な人員不足。求人への反応のなさ。また、求人活動に時間、人手もさけない状況。人員の質、技量不足、介護の仕事、認知症への理解不足。研修にも時間をさけない状況。
81	支店には拠点の見学希望の連絡があるようだが、コロナが影響してか、なかなか動いていただけず、相変わらず人員不足状態が続いている。
82	退職者が増加、新しい人材の定着ができていない。
83	人員不足の為、休みを取りにくい
84	子供の学校が休みとなったりする事で働けないヘルパーさんがいる。
85	万年人員不足。
86	余裕のない人員で毎日のケアを行っている現状で、感染や濃厚接触者になったら現場はどうなるかという不安がある。
87	感染した時のシフトが回るか不安。
88	現在スタッフ5名で1人でも休むと利用者に迷惑がかかってしまう状態。コロナウイルス流行しスタッフも気を緩められない状況。
89	受験シーズン関東方面にアパートを探しに行くなど、感染の心配がある。もし感染したらと考え、様々な心配が出てくる。特に人員不足…
90	コロナでショートが利用できなかつたり、デイサービスの回数を減らされて訪問での利用が追加となり、人員不足なのにさらに稼働が増え、全体的に休みの回数が減ってしまってスタッフも疲れてきている。
91	企業は効率良く生産性を上げ売り上げを上げていく中で、常に人材不足と大企業による書類の多さに本来一番大切な利用者様への訪問安全な安心した生活を一番に考えると空き時間でとても処理出来ない。
92	人材不足のためヘルパーの体調が心配です。今日は扶養の調整の為特に休みが多く休日出勤が出ています。
93	同じ拠点にグループホームがあり、特に人員不足で夜勤者も疲労の色が隠せない。支店からも業務支援を頂き人の出入りがある。そんな中、熱発された御利用者が居り(PCR検査待ち)、益々神経を使い対応しているが、スタッフも心身ともにすり減らし倒れそうである。
94	帳票が増え、面会に関わる仕事がとにかく増えづらい。人員不足のところ、受診をスタッフ対応でしなければならず、本来「家族対応で」としている外来受診や急な受診の対応に追われている。
95	交代人員が専門職で不足(看護師)。
96	求人を出しているが応募がない。
97	同居人が東京・大阪に行く、親せきが帰省する為念のため休みたいと希望が多々ある。
98	当ホームでコロナウィルスが発生した場合の職員配置や対応など。
99	往診での検査後どうしても人員の不足に悩まされる。陽性が出ているわけではないので本社からフォロー等も呼べない状況。
100	スタッフの人手不足
101	人員は慢性的に足りません。失業者が多くいるのに介護の需要はあるのになぜ介護業界に来ないのか。
102	これから発熱のあった場合などヘルパーさんに休んで頂け(様子見で長く休む)る環境を整えていかなければとは思いますが、人員不足をどう解消するが不安であるため。

Q 2-2 記述内容	
103	衛生用品の在庫不足、価格高騰など。コロナ感染対策を十分行うためのマンパワー不足。人的、時間的、環境的な部分で十分な対策に限界がある。
104	体調不良（家族含む）で休まねばならず急なシフト変更が求められる。
105	コロナ疑義案件が出た場合の人員や用品については不安があります。
106	毎月チラシを配布し、月1回就業相談会を開いているが、全く応募がなく今年1年間0人の結果となっている（新人さん）。やはり訪問介護は人気がないようです。
107	訪問している利用者が（利用されていたSSで）コロナ陽性となり、訪問していたヘルパー（2名）が濃厚接触者となり、2週間の自宅待機となり（検査で陰性）ご家族にも迷惑がかかりヘルパーのシフト変更も大変でした。
108	コロナの影響に関わらずというところですが、強いていえばです。
109	コロナ感染者が出て時、濃厚接触者の発熱、体調確認に人も時間も取られた。1人かかっただけで利用者のケアの振り分け等他者も（スタッフ）仕事が見つなくなった。自分がかからないよう、感染させないよう気がつかった。
110	ヘルパーでもし濃厚接触者が出てしまったら、サービスに替わって入れる人員が足りない。
111	スタッフの家族が陽性になりそのスタッフが出勤できない日が長期になっている。それを残りのメンバーで回している。このようなスタッフが数人いたらケアが回らない。
112	夜勤できる人が少なかったり、業務ラインが忙しかったりするので、総合的にみると人員不足だと言える。
113	ヘルパーを希望する人がいない。訪問介護がリスクが高いためでしょう。ギリギリの人数でシフトを回している。
114	子どもの学校で陽性が出た場合、職員が仕事を休まなければならない、人員の確保が難しい。
115	利用者さんを増やしたくても対応に必要な職員が足りない。
116	ヘルパーの働く時間が限られている。
117	人員が不足しており、新規依頼も多くありますが、受けられていない部分が多い。感染者のサービスはまだ入ったことはないが、今後サービスを入るとしたら不安である。
118	確定残業が多く、人手が足りない。
119	人員が不足していて職員の募集しているが、入ってこない。
120	PCR検査体制の不備によりコロナに感染した際の人員不足対策。
121	人員不足です。何とかしてほしいですが、会社は売上が下がると業務支援に行くと現場が大変なのにいい加減にしてほしい。
122	ギリギリの人員の為、コロナ等発生した場合はシフトが作れない。
123	新型コロナの影響もあり、慢性的にヘルパー不足に陥っている。
124	家族さんが県外に行かれるたびに2週間の自宅待機となり、その方のサービスを他の人に行ってもらっているが、一度に2、3人重なると行けるヘルパーがいなくなる。また、その方の収入減となる。ご家族も仕事の為に行かれていますので行かないようにとは言えない。
125	コロナにそこまで関係はないが、人手不足
126	派遣看護師ありきでの稼働台数を設定しているが、コロナの影響でダブルワークが厳しくなったのか、ここ2ヶ月程は派遣の決まりが悪い。
127	勤務時間の超過
128	求人難は元々でしたがコロナによって増やされたと思う。
129	人員不足で満足のいくケアができていない。
130	人員不足はコロナの影響ではないかもしれないが、求人を出しても応募がない状況で業務をしなければならないため、負担が減らせていない。

Q 2 - 2 記述内容	
4. 長時間労働・休日労働関連	
1	非常勤さんが休むと正社員でカバーするしかない。
2	利用者でPCR検査を受けると連絡が18:00頃からはじめ20:00すぎまで対応にあたった。管理者は残業手当もない。といって休みをとれる状態でない。コロナ手当をつけてほしい。
3	休日でも電話連絡等が入ると半日は潰れる、精神的に疲れます。お子さんの学校等でコロナ陽性者が出たりしてヘルパーさんの休みが増えている。先手を打たないと現場が回らない。
4	予防対策の書類などで業務が増えスタッフの負担
5	今現在、スタッフの人数が大幅に不足していて、少ないスタッフに早出、残業、休日出勤をやっていただいている状況です。
6	熱がある利用者様宅へ非常勤スタッフが行ってくれないため、常勤スタッフがいくので。
7	サービス残業をせざるをえない空気感がある。(売上を上げろ、帳票は完ぺきにこなせ、残業はすると言われるが理不尽すぎる)
8	ヘルパーが県外に移動し、休みが必要となった(4月)。ヘルパー不足となり長時間労働となった。
9	普段の業務以上に負担が大きくなっている為。
10	通所、訪介、退職者が出ており、残業、休出の状態である。コロナの影響と言うより常に
11	ヘルパーさんが休まれるため、替わりに出勤。
12	管理者、常勤への負担増。現場対応と管理者の業務。ケアマネとの業務のはざままで休日返上状態。第3波と言われる状況の中、コロナ対策、予備、緊張感をもった対応の継続による疲れ、面会を望む家人様への対応。
13	人手不足。残業、長時間労働
14	人員不足により、本来休日である土曜日にも業務があり、他のヘルパーにも業務が振替し難い。この状況でPCR検査を受けてしばらく自宅待機になる事を考えると検査も受け難い。
15	売り上げを日々言われるため、ゆとりがなく、1人でケアや書類等に追われる毎日。コロナの不安もあり、ヘトヘトです。
16	少ない人員の中で、感染症対策がプラスαで毎日負担感が増している。
17	体調不良があった場合、例年よりも敏感になっており、職員を休ませている為、人員が不足し、残業や休日出勤が増加している。
18	人員配置基準がある為、長時間労働及び連動になります。

Q 2-2 記述内容	
5. 感染予防対策関連	
1	濃厚接触者対応への不安、検査結果までの入居者、職員対応
2	少しの咳や痰がらみでも利用者が過敏になっているので、サービス中に無意識に咳等できないというプレッシャーと、体調管理の重要度が増したことの重圧を感じる。
3	法令で決まっている点検などの訪問を利用者に嫌がられることがある。 また、施設へ入れないことが多く仕事ができない。
4	ヘルパーは感染対策してるが利用者はマスク等していない。 コロナの影響で業務が増えている（体温表）
5	感染が疑われる利用者との接触やリスクの高い利用者への訪問に対して事業所としての動きがはっきり明文化されてない。職員が濃厚接触した時の職員、事業所の対応が不十分で、現場判断で動けず対応が遅い状況にある。
6	感染者が出た時の会社としての方針が明確化されていない為、これからの方針を聞かれた時に困る
7	事務所に空気清浄機を置いてほしい。
8	自分達が広めない為に気づきが大変。外出・面会などの制限が難しく大変。
9	感染予防⇒どこまでしたらいいかわからない。
10	担当者会議も帳票の配布、訪問のルールが個別化して手間がかかる
11	対利用者様に対し予防が無い。対応が遅い。
12	感染予防に関して、これから気温が低下してくる為管内温度調節。
13	ヘルパーはマスクをしているが、利用者様はマスクをしていない。また、コロナのことを理解できない利用者様に対応するとき怖いです。
14	事務所の消毒に追われる。換気の徹底による寒暖差で体調を崩している。
15	スタッフに発熱者が出たらコロナを疑ってしまうこと。
16	間に合わせの設備、用具がなくて確実に防ぐものがない。
17	飛沫防止パーティション等は拠点に任せず、会社・支店でまとめて購入し配布してほしい。アクリルボードが品薄で作成するにも難しい。高価な為。
18	職員のストレス要因となる消毒作業の増加。
19	感染予防対策はしているつもりですが、本社から更なる指示があり、負担が増えている状況です。
20	デイサービスではシールドが高く購入が難しい。
21	遠方からの来客訪問を防ぎきれず、予防対策が取りづらい。
22	感染防止のための業務負担が大きい。また、感染した時やその後の対応に不安がある。
23	やはり職員も利用者様も不安を抱えているので、正しい判断や指示ができていないか不安です。
24	一人でも感染者が出た場合のゾーン分けが難しい。職員に感染者が出た場合の人員の確保。実際に感染者がでた場合、保管しているマスクやガウンの数では不足。
25	アルコール手指消毒等会社においてある分はあるが、外出時に持ち歩く分やマスク、ウェットティッシュ等、個人で準備している。今後ずっと必要となるものなので個人で負担して行くのかと思う。何らかの助成をしていただけるとありがたい。個人の意識によって感染予防に努めているが、アクリルボードの設置、サーキュレーター加湿器等環境整備も必要だと思う。
26	施設門の出入りをできるだけ減らしているが、リスクが減るわけではない。感染者が出たりクラスターが発生した場合の使用者と家族にかかる負担が心配。サービス提供が継続できるか不安。
27	コロナの終息が見えない今感染予防や施設内に入れられないなど気が抜けない。
28	利用者及び家族のコロナに対する危機感の欠如。感染増加中に東京・沖縄から家族の帰省。マスク等感染対応をしない。
29	物資が完全ではない通所のアクティビティが今までより困難。
30	毎回訪問時、事務所帰社時手洗いを行っているのは当然ですが、そのため荒れを心配するスタッフや自身があります。
31	消毒剤や手袋など不足しないよういつも以上に気を配る。利用者さんがマスクをしない。
32	ご利用者様の理解度も低く、マスク着用や消毒など対策がとりにくい現状に危惧しています。
33	入居差様と密にならないような介護は難しいため、適切な距離が保てない。入居様全員にマスク着用は難しい。
34	感染予防として手洗い、マスク、手指消毒に加え、事務所のアルコール拭き上げ、靴裏消毒等が加わりました。社員全体で徹底するにはまだまだ時間と労力を費やしそうです。感染予防の気遣い、人と人が関われない長期間にすれすれを感じています。
35	備品の確保、コストの増加による負担が大きい。コロナのめどが立たず、期間が長くなってきているため、慣れが出てきており緊張感が低下している。
36	見えない敵に対し、常に不安があるし、万が一感染した場合、自分が感染源になることがこわい（自分一人が感染するだけなら仕方ないと思う）
37	とにかく県外（首都圏）からの流入が激しく（軽井沢の隣なので）県外者でスーパーも病院も町中あふれかえっている。どこで感染してしまうかとても不安。スタッフはみな消毒、検温、その他できることは毎日地道に行いご利用者様の安全を守っています。しかし、他県に親子や子供がいる人は往来を制限して1年近く会えていません。県外へ行けばその分休むとしても休めない（代わりのスタッフがいない）。会社からの慰労金もなく残念です。現場はいつも大変です。PCR検査やワクチンは会社が負担してくれるのでしょうか？

Q 2-2 記述内容	
38	物品の手配に苦慮することがある（現在だとペーパータオル）。感染予防対策関連では、入居様のスタッフのPCR検査実施時の報告、感染想定時の事務準備、面会のご案内等の事務処理等。
39	通所介護の人員費の削減があるがアルコール消毒等（清拭）手間は増えている。今後加湿器等対策をしてほしい。
40	長期化している事で利用者様の生活に影響が出ているのと、ルールが徹底（守って）頂ける方ばかりでもないため対策が必要。
41	飛沫防止用の衝立等準備をするところ。
42	マスク、アルコールもしているが、どこまで防げるかわからない。 もし、誰かがコロナになった場合のサービス調整（期間が長い）
43	コロナの影響で色々な予防対策等の準備が必要だったりするが、支店の協力が得られないこと。問い合わせをしても返事が無かったりする。すべてを自分達でこなさなければならず、業務との併用で雑務が増えた。
44	・ヘルパーが県外に行った後、二週間は業務に就けない。・利用者の家族が県外から帰省した際の感染予防対策・利用者の家族が県外から帰省した際にデイが二週間休みになるときのシフト対応が大変
45	無症状者等の対応の難しさ。予防がどこまで有効なのかも不安。
46	・コロナが収まるまではと、訪問を中止にされている利用者がある。・施設と違い、東京や名古屋のご家族が行き来されていても介入せざるを得ないので感染しないよう気を付けている。
47	マスクを付けるだけで大丈夫なんですか？
48	・事業所に持ち込まない対策（出入口に靴の消毒用タオルを置く。・ドアノブ、机、椅子等の消毒）をまめにするのも限界がある。※人の出入りが多く、早朝、夜間のケアもあるため。
49	卓上パーティションを配布してほしい。
50	対策を行っているつもりではあるが、感染拡大している中で、職員がすぐに対応していけるのか不安。備品もそろえているが、実際に発生すると不足してしまうのではないかと。
51	事業所内のソーシャルディスタンスは全く取れていない。パーティションも少ししかない。
52	会社が示す対応策がちぐはぐで統一されていない。現場を混乱させている。
53	居宅の対応は具体的な指示がありません。事業所に体温計、手袋、防護服などの常備について
54	ベッド納品や回収の際にマスクを付けながらの作業だと熱がこもり熱中症になりそう。
55	予防対策に手間がかかる
56	自拠点では感染者はいないものの近隣地区の介護施設で発症しているため他人ごとではない。注意はしているが、利用者家族が遠方から帰省されると不安はある。
57	ご利用者にマスク着用を促しても外して会話している方も多く、都度マスクをお願いしていることへの負担。
58	利用者の方が過剰に反応されていることがある（自分はコロナかも。ヘルパーが通院していると嫌がられるなど）
59	休日は外出を控えてコロナに感染しないように気を付けていますが、友人と半年以上あえていない
60	感染者が増えてきてまた外に出る事ははばかれるようになりました。この状況がいつまで続くかわからない中、ストレスが積み重なってきており、だいぶ疲れてきました。
61	長時間又は常時マスクを着用しなければならない。通勤時、社内。利用者訪問時などの器物の接触による感染対策。
62	非接触体温計、パーティション等何も支給されていない。スタッフの多くがモチベーションが下がっている。慰労金をもらえていない。
63	他社のデイサービスではフロアテーブルにアクリル板の設置がある所もあるが、自社のデイサービスでの導入はない事。
64	面会の制限、マスクのため表情が見えないことなど。入所者、職員共にマイナスの影響。
65	高齢者や疾患のある方のお宅への訪問について⇒確率した線引きがなく感染させてしまうことと訪問が必要なことの自己判断に悩む。あいまいである。デイやショート利用加算・・・利用している人が負担することを理不尽に感じている。一人暮らしや日中独居の利用者が体調不良（高熱やかぜの症状）になった時の対応について。移動時（公共交通機関）に困る。人が多い時間帯は避けたい。
66	予防対策をしても感染してしまうのではないかと不安。
67	マスクは全ての職員に充分支給できておらず、各自で調整してもらっている分もあります。年末年始で家族が帰省したり、職員が他県へ帰省した場合、利用者様が「感染するのでは？」と心配されている様子です。必ずしも安全と言えない状況でのサービス提供に不安を感じています。
68	予防していても感染してしまったら、これ以上どの様にしたらいのか。
69	自宅待機の対象
70	居宅ケアマネは一般在宅やホームへの訪問（モニタリングや担当者会議）があり、急な変更、対応を余儀なしにされるため。
71	他県へ出たら帰ってきて1週間は自宅待機となる為、必然と人員不足。
72	県外の家族が帰省したり契約等家族同席が必要な時大変困ります。
73	G o T o O Oと世間は移動しているが、介護職員はいまだに自粛しており、外出制限や遠方の家族にも会えず帰省をさせることもできない。
74	寒くなっている中、換気対策を行う事が困難になってきている。
75	換気
76	マスク着用 面会中止 マッサージ（訪問）中止

Q 2-2 記述内容	
77	利用者その家族が熱を出した時にケアに入るべきか？自分が濃厚接触者の接触者になることが怖い。 他のケアに入れなくなれば、会社は回らない。。
78	会議など人の集まりや移動が多いがリモートにするなどの対策が何もない。
79	予防はしているが、スタッフが不安がっている。
80	利用者、家族の濃厚ではない様子見の基幹のケアのあり方。マスクするだけでも大変な上、ゴーグルかフェイスガードはケア内容、特に入浴介助の時は困ります。
81	コロナを心配して、少しのカゼ症状でもキャンセルする利用者様がおられる。
82	消毒等の業務が増えている。
83	事務所内が密になりやすい。換気が不十分。
84	いつ、自分がコロナにかかるかと心配という事と、利用者に移してしまわないかという心配がある。
85	冬場、事務所の換気
86	県外の帰省者のいる利用者宅、生命にかかわる安否確認等以外にご家族対応を提案させていただいている。
87	感染予防対策の業務が業務の負担となっているため
88	予防に対する考え方が人それぞれ。対人での仕事で不安が大きい
89	在宅のご利用者様にマスク着用をお願いできない。また、ご本人が発熱等必要な情報を感知・訴えができずあわてることがあります。
90	職員が持ち込むリスクが高い。プライベートの生活に対し、感染対策についてお願いはできても強制できない。

Q 2-2 記述内容	
91	高齢者と常に接する機会の多い職業であるのに、PCRに限らず、感染予防対策が後手にまわっているように思う。特に今年はインフルエンザの予防ワクチンが不足していることもあり、11月下旬現在でもスタッフの予防接種受診が完了できていない状況は会社のみならず自治体を通して国へ早急に現状を伝えて欲しいと思います。
92	富山は少ないとはいえ感染者が増加している。ニチイのデイは消毒はされているものの、密状態。他の事業所は座席や飛沫が飛ばない工夫がされている。ニチイはこのままでいいのか
93	マスク着用しての入浴介助は息苦しく、介護スタッフの負担が大きい。
94	面会、マッサージ、外出等の制限
95	お客様宅へ関東在住の家族が帰省したり、お客様自身が関東方面へGOTOトラベルを利用して旅行して帰ってきた時にヘルパーさんたちが感染を恐れて訪問したくないと訴える（集団で）
96	感染症が広がってきている中で、自分が感染してしまわないか心配です
97	3月ごろからずっとコロナ対策でお客様のご家族が合いに来られず心配になっている感じです
98	認知症の利用者様に感染症対策を理解していただくことの難しさ
99	感染対策のためにホーム運営のやり方を都度検討、変更していくことでスタッフが混乱してしまう
100	感染者が少なく、地元の施設では、県外からの家族他が帰省の際には、利用を2週間休止していただくなど、コロナに関して敏感となっているので、予防対策も万全にしている状況。
101	毎日の事務所の拭き掃除。換気。
102	P C R検査費用の高さ。
103	家族様の面会希望になかなか対応できず申し訳ない。
104	現在利用者様の面会は規制をかけて実施しておりますが、外部からの訪問（医療関係者）も多く、消毒、マスク、フェイスシールドを行っていただいておりますが、高齢者の為大きい声を出したり耳元で話をしないと聴こえない方も多く接近した対応になっている為、不安はとても大きいです。また、ご家族様の面会の減少やお散歩になかなか行かれなくなった事で利用者様のメンタル面、体調面にあらわれている方も見えます。
105	お客様はマスクをしていない。できない方が多い。耳が聞こえにくい方は顔を近づけて会話することが多い。お客様にうつしてしまうかもという不安。
106	県外から家族が来た、県外へ行った場合は自主的に休みを取る（取った方がいい）というところから休みが多くなり、人員が不足している。特に会社から予防策が示されていないので、何かキチンとした対策を明確にしてほしい。
107	社外で感染予防策の実施の程度について
108	事業所が感染予防策を講じているのにご利用者、お客様の中には認識の低い方がおり、リスクが高いと感じながらもサービス提供を続けなければならない。
109	施設内に持ち込まない、感染しない・させない周知徹底
110	ご利用者の周辺で感染者や濃厚接触者が拡がりそれでもサービスに入らなければいけない状況あり。対策行っているが、今後も出てくると思う。
111	訪問先は同じヘルパーでうかがうようにする（感染した場合のことを考えて）。基本的な感染対策はとる。
112	感染予防で事業所（特に食堂）の換気、全利用者様の検温を毎日行うことになったが、方法が確定せず、確実にできているか不明。確実にやるには作業量増加で人が足りない、仕事量が増える。備品の消毒（定期的）まで手が回っていない。
113	飛来予防対策⇒備品の販売価格高騰にて経費がかかる。
114	対策面でPCR検査を利用者が受けただけで、感染したとの同じ様な対策をとるため仕事が増える。
115	就労に敬遠される。自宅での作業の為。常に感染意識が大変。
116	エッセンシャルワーカーとしてワクチンを優先的に実施してもらえないか不安。
117	机のクリアボードとかが欲しい。
118	自宅に訪問するサービスの為、今現在も感染予防をしているが、これ以上の予防をどうすれば良いのかと日々悩んでいる。
119	本社、支店からの明確な対応、返答がないです。
120	デイフロアのテーブルに設置しているビニールシートの仕切りを、もっと丈夫な物にしたいが費用もかかるので作り直すことが難しい。



Q 2-2 記述内容	
121	身元様ご家族の面会対応。面会室が無い（限定1日5組）の希望が、土日祝に集中するが土日祝は人員（1名）対応の為スムーズに対応する事が難しい。また、目を光らせていてもご家族間での密が防げない。大変困っている。
122	机のクリアボードとかが欲しい。
123	感染予防対策は発令されてからずっと行っていますが、訪問介護職員なので、いつでも感染してしまうのが心配。また、自分を介して感染させてしまったらと常に神経質になってます。もしスタッフが発病した場合、シフトがうまくまわせることができるか不安です。
124	マスク着用ができない。換気をする苦情が出る等、感染予防対策がスムーズに行えない。
125	毎日の消毒で時間がかかる。
126	非公表ばかりでいろいろな噂が多く混乱してしまう。感染拡大予防のため利用者様宅を短時間での訪問、又は電話対応中には電話対応では困難な方も多く、マスク手洗い消毒の徹底。
127	利用者様ご本人が咳やくしゃみが出ていても声掛けをしないとマスクをされていなかったり換気も良くされていない。
128	新規に入居される方が感染しているかどうか不安です。
129	新型コロナ対策で通常より費用がかかっている。
130	会社からはオムツ交換時に会社支給の布エプロン（1枚）を使用してお客様対応をするよう指示あったが、ぬのエプロン1枚を着用し、万が一、便等が付着した場合次に訪問するお客様対応をどうしたらよいのかビニールの使い捨てエプロンなら問題ないが、布エプロン1枚で1日10件のオムツ交換をするのか！布エプロンの現実を知ってない！
131	GoToをしている時点で感染対策になってないし、医療や介護の現場を軽視していると思えない。現場の人間はみな遊ぶことを制限しています。
132	事務所内の喚起、消毒に手間がかかる。交代があるか知りたいが費用が高い。
133	マスクと手袋だけでサービスをする事や体温が高め（37.5度）あるかわからない。生活のサービス時は体温を測ることがない。
134	感染予防は皆しっかりとしてくれているが、利用者様の中にはコロナに対して危機感が無い方もいる。理解してもらうのは大変。移してしまうのも移されるのも怖い。誰かが感染し業務が回らなくなる不安も大きい。
135	換気を行う際、どうしても室温で下がってしまう。利用者様より寒いと言われ直接的ではなく離れたところの窓を開けて行っているがきちんと換気ができているか不安。
136	会社の方針によって援助変更が必要となる。
137	県外に出て行かない人でも感染している。希望者は検査を受けられるようにしてほしい。うがい、手洗い、検温、換気などできることはしているが、利用者やご家族への訪問や各サービス、事業所ごとにルールが違っていて混乱している。
138	旅行、食事、買い物はなるべく行かない。コンビニ、小さな店でパッパと買うなど人と接触を避けている。がまんしてるのにG o T o・・・で感染者が増えている。
139	長期間の感染予防になっているので、スタッフのモチベーションの低下、疲れ等あり。リフレッシュで思うように出かけられない。以前よりスタッフ不足はあったが、コロナの影響で求人の応募がない。
140	感染予防してもかかってしまった場合、どうしたらいいか。周りに迷惑をかけたくない。
141	介護職員が定着しない。感染予防対策の実施状況があいまい。マスク、手洗い、小声が徹底。
142	利用者に感染させない様、行動を制限している。又、近くの事業所でも感染者が出たと聞き、ピリピリしている。メンタルヘルスケアも必要になりそうになっている。
143	現場のヘルパーが対応に不安を抱いている。
144	職場の換気が悪いが、経費がかかるとの理由で整備されない（壊れやすい窓なので、開けてはいけないと上長の指示あり）。
145	冬期の換気に限界がある。認知症の方へ密を避ける対応が難しい。
146	自分たちが感染することがないよう、外出や外食を控えすぎてしまい、ストレス解消ができない。
147	感染予防を行っているが、いつ感染するか、させるかといった不安が常にある。
148	毎日どこまでアルコール消毒すれば予防できるかわからない。

Q 2-2 記述内容	
149	自分が感染して保育園児に感染を拡げないかととても心配。
150	手袋が高い。利用者の方がカラオケに行かれるので不安。
151	手袋、マスクがたくさん必要。マスクの効果に不安。予防がすべての人が同じようにできていないのでは？。コロナにもしかかっていたら・・・と不安が大きい。
152	手袋、アルコール消毒液等必要、マスクも使い捨てタイプが安心。必ずしも手洗い。うがいができる場所があるとは限らない。もしコロナになっていたら・・・と不安。
153	手袋などなくなってきたら事務所でもいただかなければいけない。アルコール等も日に何回もしなければいけない。でも心配です。何となくコロナうつになりそう。
154	常に感染を気にして消毒などいろいろと気にしすぎて疲れます。
155	事務所内でパーティションを設置しましたが、どのくらい役に立っているのか、予防になっているのかわからない。どこでもマスク、消毒で、消毒が本当に予防になっているのかわからない。
156	会社の布エプロンだと持っている枚数は限られているので、使い捨てタイプのエプロンなど支給されると大変助かります。
157	対策は行っているが、それがきちんとできているか。予防できているか。
158	事務所内でのソーシャルディスタンスの確保が十分に取れていない（スペースがない）。電話の取次ぎ、使いまわしとなってしまうため、不安がある。ミーティングなど大人数の開催が難しく、カンファレンスのような皆で話し合える場が減少している。
159	プラスチック手袋の値上がり（5～6倍）の為、節約して使用しているが、感染予防に不安がある。
160	マスク、手袋不足で衛生面で心配。
161	もしヘルパー自身が感染していても発症していない場合、利用者様のケアに入るのが心配です。
162	皆バス通勤をしているのに時差出勤を提案されたこともなく事務職限定ではありますが、在宅勤務の提案もなかった。ご利用者と同空間にて仕事をしているが、介護職でない者の件さを受けられるのか。
163	感染予防をしているが、仕事上つい後回しすることがあるので心配。
164	通勤時の不安
165	感染の疑いのある利用者宅の訪問。医療機関関係のように、防護服・フェイスシールドなどの準備が思うようにできない。
166	濃厚接触者対応への不安。検査結果までの入居者職員対応。
167	連休や年末年始にかけて、遠方や都会からの利用者家族の帰省予定の話聞くが、それがコロナ感染拡大のきっかけになることがあれば、防ぎようがない。スタッフからもそのような家族のいるお宅へのサービスはできれば入りたくないという声が出ているが、現状サービスを断る理由にはできない。
168	こまめな消毒（送迎者含）をするのに、時間が足りない。
169	感染予防対策として面会制限が長い為、御家族様とのコミュニケーションが取りづらい。
170	密になるからとOJTも嫌がられ見学もろくに出来ず困っている。特殊な技術、対応を求められる利用者なので、全スタッフが同じレベルで看護を提供したいと思っているがなかなか思うように進まない。
171	食事でのパーティションが難しい。
172	消毒が不足している。一人一人の感染予防意識の違いで大変。車に乗って窓開けない。お客様がマスクを外しても気づかない。食事中マスク外したまま会話する。
173	感染予防対策に関してできることは行っているがこれでよいのか等。
174	マスクや防護服をつけての入浴が負担になる。デイが訪問できないとの事で訪問入浴利用の依頼が来るが、どこまで防護したらよいのかわからない（県外の帰省により）。濃厚接触者でなければ防護服は着なくて良いと言われるが感染が心配。
175	手袋を用意してもらっているが、パウダーフリーばかりで使いづらい。マスクをつけての入浴介助がスタッフの負担になっている。
176	コロナ感染対策による別の業務が増えている。県外帰省されたご家族もおり、感染対策が当たっているのが不安。
177	面会等の制限でご利用者様とご家族の面談ができない。

Q 2-2 記述内容	
6. メンタルヘルス関連	
1	自分がどこかで感染するのではないかと不安と、うつしてしまうのではないかと不安の中、毎日過ごしています。自分、家族の行動も制限しているのでストレスがたまります。
2	仕事上ストレスもたまる仕事であり、自分の趣味など発散するところがなく常に感染をしないといけないと言う事に気をつけながら生活をしているので、皆疲れが出ている。
3	入居者様のご家族の面会や、外出の機会が減るのでメンタル的に不安定になる。スタッフは、外出等制限され、気分転換の機会が減り、見えないストレスがたまっている。
4	ガウン・マスクを着用し（同町内で陽性者が出た為）2週間サービスを行った。予防の為にも着用していた為枚数がたりなかった。ヘルパーの精神面に対するケアが大変（自分自身も疲労がたまった状態）。
5	ヘルパーさんのメンタル部分が心配です。
6	職員の感染予防について、とても神経を使っています。プライベートでの外食や外出も注意してもらおうよう、細やかに指示。室内換気にも注意をしている。精神的疲労がある。
7	外出の機会が少ないことのメンタル面でのストレス。
8	コロナで高齢者の方に移さないように通常の倍ほど気を使うので、精神的にも弱っている。
9	入居差様に感染させてはいけない、申し訳ないと思い、行動が制限される。最近ではストレスを感じている。
10	感染してしまった時の周りへの感染。
11	常に意識して行動する必要があり、休日でも他職種に比べ行動制限が多くストレスを感じているスタッフもいる。
12	いつどこで感染するかわからない点。
13	特に問題が発生しているのではないが、1人1人のヘルパーさんたちが日々ご利用者様宅へ訪問する時に「かからない、うつさない」というそんな緊張感を持ち、私生活も自粛されているだろうと思う。
14	利用者様、職員とも外出できず、利用者にとっては面会も中止にストレスたまる。
15	職員一同心身ともに疲れ切っている。プライベートの活動を職員の殆どが我慢しているのでストレスがかかっている。気を使うことも多いので（コロナ予防）。
16	面会制限のためお客様、家族様がつらい思いをしている。スタッフのストレスが大きくなっている。コロナに対する恐怖感。
17	利用者さんが感染を怖がりサービスを受けたがらなくなった。
18	スタッフが気を使いながらの仕事で、疲れてきているのが心配
19	外出自粛制限による精神的ストレス
20	・周りは日常を取り戻している中、介護の仕事をしているため周りよりも自粛を強いられるストレス。・ご家族から面談の強い希望があり、その対応の中でキツイ言葉もありメンタルが疲弊する。
21	除菌、感染予防に気を遣う。プライベートでも行動が制限され、ストレスフルである。換気設備がない。ドアを開放している。利用者の就職先、見学、体験先に制限がある。
22	家族の方が面会に来れなくなっており、入居者様でなくご家族様もストレスが溜まってきている。
23	・職員の負担増に伴う心身の健康管理。・アクティビティ等の制限による入居者のメンタルや運動機能低下。・ご家族の思いと、制限との調整。
24	訪問するにあたって家族様が本人に会わせがたらない。正しいアセスメントができず、重篤な事に陥るのではないかと不安。またコロナ関係で、国が印鑑は不要決定していない報道があり、訪問すると印鑑はいらないのと違うのか！怒鳴られたりする。
25	感染する恐怖が常にある。外出できない事より、利用者様のストレスがあるように見受けられる。
26	コロナの不安ウツ。
27	利用者、家族、スタッフの不安感増大に対する対応。
28	訪問介護ステーション管理者会でコロナ対策やマニュアル・フローチャート・協定書など作成考案中。業務が増えており、精神的ストレスが増強しています。
29	自分の緊張感とご家族、会社、職員の緊張感が多い。ご家族は面会を求められ、会社は入居者の受け入れを求められ、職員の行動も把握できない。
30	1日5回のホーム内の消毒。なかなかスタッフもストレス発散に出かけるのも出来ない状況と、皆に疲れが出てきている。

Q 2-2 記述内容	
31	メンタルは上司には何度も伝えているが、ヘルパーのメンタル対応、傾聴をしているが、管理者の傾聴は誰が対応してくれるのか？と問うても「私に言ってくれれば」もなし。〇〇へ連絡してもなし。もしも上司が「私に言ってくれれば」と言われてもご相談やグチなどがそのまま伝わり評価につながりどこかの管理者さんのようにパワハラで退職になるのはイヤなので、伝えつもりもありますがありません。メンタルは自分でお金を出して何とか安定させています。それでも今後いつまでとわからないので今後は不安です。
32	マスクを長時間装着しているため息苦しい（特に入浴時）。また、かぶれる人がいる。
33	派遣先が決まりにくい。休みもリフレッシュできず心労がたまっている。
34	PCR検査が受けやすくなるのは必要だと思う。感染したスタッフ、症状がないスタッフ等多数発生した場合の体制に不安がある。また、エッセンシャルワーカーとして最前線で働いているにもかかわらず陰口をたたかれる等あり、精神的にタフでない辛い。
35	衛生用品はセンターから配布するが、密を避けるためセンターへ立ち寄る機会が減りそれぞれ自己負担が主になっている。お客様へもマスク着用をお願いしているが、自宅では不安という方が多く不安がある。
36	自分自身がコロナに感染していたら又はお客様が感染していたらという不安は大きい。多少の発熱や風邪ではPCR検査までは実施されない為、本当に大丈夫なのかと不安は常にあります。
37	コロナウイルス感染拡大によりスタッフのメンタルヘルスの不調。不安の訴えが増えており、自身も同様の心境である。その為、質が低下している気がする。
38	予防対策による外出の制限やレクの制限などと共に職員がご利用者に対する説明のストレス。
39	いっとうなるのか不安
40	コロナ対応でのメンタル低下。家族対応。
41	感染の不安。生活の変化でストレスが増えている。
42	利用者に感染しないよう行動制限する事がストレス。コロナの為、業務が増えた。
43	コロナがいつ終わるのか分からず不安が広がっている。
44	本社・支店からの指示がなく、気をつけろだけ言われても困る。
45	自分が感染源にならないか不安で、外出や外食を控えているので、ストレス発散できずつらい日々を送ってるスタッフが多い。
46	毎日感染に対する対応のストレスが負担です。
47	長時間のマスクしようによるストレスや体調不良がある。感染に対しての不安感で疲労がたまっている。
48	自粛からストレス発散できないことで、業務に就いてマイナス思考になりかけるスタッフが出てきている。
49	職員、お客様のストレスがどうしても溜まってしまう。
50	静岡県（市）でもコロナ感染が急増している。身近に迫ってきているのではないかとこの危機感はある。働いてくれているヘルパーさん達の置かれている環境（利用者さんと共に）守りたい
51	この問題の長期化によりスタッフのメンタルヘルス、面会制限による入居者・ご家族のメンタルヘルスが気がかり
52	お客様、家族、職員の心身疲労がつのっている
53	感染予防やメンタル等々の面でスタッフが以前より出勤日数を制限、休み希望の増加、人材不足により特定の現場での稼働時間がこれまで以上に増加、一月あたりの勤務時間の増加（タイムカードに記載されない時間）が大幅に増加し、体力、精神、金銭等々全てにおいて負担が増している。
54	息抜きの外出や旅行が制限され、スタッフ同士での食事会など交流の場も人数制限があるためストレスが溜まる状況が続いている
55	事業所でコロナが発生したことで（別の部署）お客様が不安を持ち大丈夫かと聞かれる。返答しますが、何度も続くとメンタル面で気落ちしてしまう
56	感染予防対策関連の衛生用品の入手が難しい。緊張状態が続いており、メンタル維持が厳しい
57	家族が県外にいと帰省したり、こちらから出かけたりが全く出来ておらず精神的にきつい
58	自分がコロナにかかったり、家族やヘルパーさんなどにかかってしまうことが不安です。対応方法はわかっているつもりだが、仕事を回らなくなるし、不安がたくさんあります。
59	定期的に検査が受けられれば良いと思う。感染拡大で危機感が増して精神的に疲弊してきている。
60	どこまで徹底するのか指針がない。

Q 2-2 記述内容	
61	実家が地方にあり、帰省できない。高齢の家族が心配だが、東京在住という事でお互いに気を使ってしまう。又、現場スタッフと仕事以外でのコミュニケーションが図れない。
62	マスクや手袋が不足している。外出が減ったことでストレスの発散ができない。
63	精神面が不安定なスタッフがいる。
64	自分がコロナになっていたらお客様にうつしてしまうかもという不安。
65	コロナに感染していても無症状の方もいるので、自分がコロナじゃないか、うつしてしまうのではないかと毎日不安です。
66	手袋の値段高騰と品切れにより、手に入りにくい。いつまで続くのか？周りで感染者等がいるのか？緊張感が強く安心できない。
67	現在実際に困っていることは少ないが、今後マスク・消毒液等が不足しないか、現在のマスク着用、手洗い、消毒、3密を避ける等の予防で十分なのか、必要時すぐにPCR検査を受けられるのか、検査費用の負担はどうか等の不安は常にある。
68	利用者様や職員の関係者に、発症者が出た場合の対応が明確でなく、また「関係者」の範囲もどこまでかを判断するのが難しい。
69	減った売り上げを戻すよう言われる。同じ会社だが、違う地域業種でコロナ感染があったが、そちらでは（うちの事業所では）どう対応していくのかとお客様家族より問い合わせがある。
70	衛生用品は大分手に入りやすくなったが、まだ不足世情を考えメンタル部分での不安は大きい。
71	感染対策はしているが、不安はいつもある。
72	緊張の糸が張り詰めている中で、更に状況が悪化していることに対して各職員の不安が大きい。
73	職員の体調不良や入居者の発熱の度に緊張状態になる。
74	今はないがヘルパーさんがコロナに感染してからサ責や他ヘルパーの人で仕事が回るか心配。自分のストレスが心配。
75	メンタルヘルス関連では、ご利用者様職員ともに健康だが、フラストレーションは溜まっていると思う。
76	未だ収束の見込みがなく、先が見えない状況下で仕事をしている為、スタッフの方々、自分自身も行動制限をしてかなりのストレスがあるかと思われます。
77	スタッフ、ご入居者様含めて外出制限があり、ストレスが溜まっている。マスク着用にて表情がわかりにくい。
78	感染がスタッフにあった場合、拠点の各サービスが利用できなくなるのではないかと、又、利用を断ってくる利用者が多いのではないか。PCR検査を個人で受けたい場合、どの医療機関で行っているのか分からない（まだ調べていない）。東京都放免等都市部から家族が帰省され、サービス時ヘルパー・看護師等予防服を着用しているため、作業面、精神面で大変である。
79	万が一にも感染が許されないという恐怖感。
80	もし自分が感染源になって利用者に感染させたら・・・という恐怖感が常にあり、ストレスが大きい。
81	衛生用品の高騰。コロナ陽性発生の風評被害。スタッフのメンタルヘルス
82	感染リスクが見えないため、できることは行っているが、不安は拭えない。
83	利用者さまに感染者が出た場合の対応が不安です。
84	マスク、手袋等が今後不足するのではと気掛かりである。以前から人員不足であるが、さらに新規の職員の応募が少なく感じる。職員が自粛の影響でストレスが溜まっている。体調が良くない等なのか時々職場の雰囲気がよくない気がする。
85	コロナにかかったらどうしよう、自分の仕事は、事業所は、利用者はどうなるのだろう。
86	濃厚接触だと後からわかるのが怖い。連絡が来るのがケアマネージャーからだが、情報が少ない方が多い。事業所から個別に保健所へ問い合わせしているが、していない所もあるのではないのでしょうか。
87	感染予防対策を続けることにストレスを感じる。
88	制限が色々とかかっているため、ストレスがたまる。
89	売り上げ不足。
90	PCR検査を受ける基準がわからない（検査をする人、しない人が同じ症状でも分かれている？）。自分も感染するかの不安。感染者が多い都道府県からの移動ができない。実家に帰れない。
91	自分が感染したら利用者様や同僚が感染するのではと不安を感じている。

Q 2-2 記述内容	
92	感染予防対策に神経をすり減らし、メンタルの疲れがある。コロナを理由に休まれるお客様も多く、売上げが減少している。
93	東京からの旅行者や感染地域からの帰省の方が来られるため。
94	区内の施設でもコロナ感染があり、職員の不安や対策をしても気になる。
95	訪問介護は1日に複数のお宅を訪問します。利用者にいろいろなお宅に訪問しているのだからどこかでコロナ菌をもらっていると言われたり、育児中だから子供がコロナ菌を持っているかもしれないと言われたりすることが辛いです。
96	ロックダウンした際にどうなるのか
97	外に出て気分転換が出来ていない分スタッフ・利用者様に対してネガティブな気持ちを感じてしまう。元々インドアな私でこうだからアウトドアの人はもっと辛いのでは、。
98	コロナの影響で失業者になってうつ病等になって精神的に落ち込んでしまうこと。カウンセリング等はあれど、気になっていません。7に関しては第三者によって間違った情報が情報が忠僕が流れる。
99	飲み会等制限があり。気分転換ができない。仕事と家の往復なので気が滅入る。
100	ヘルパー自身も感染不安がある。
101	ヘルパーがケアに入った利用者家族に心無いことを言われ、精神的に苦痛を感じるケースが増えてきました。感染者が増えてきたことにより、自分が感染し他のスタッフや利用者に迷惑がかかったらどうしようかとそれぞれ不安を感じながら業務を行っています。
102	マスクや予防衣を配当して欲しい。ただでさえ人員不足なのに、感染者が出てしまった場合、どうしたら良いのか不安になる。
103	入居者がなかなか外出できない事、家族に会えない事が不満不穏につながる。レクもあまりできず認知が進む。人手不足なのに仕事量も増える。施設内の消毒にも時間がとられ毎日大変です。
104	感染予防対策として面会制限が長い為、御家族様とのコミュニケーションが取りづらい。族が熱発した時も)
105	人員不足がコロナ以前より続いており、より人員不足が厳しい状況となっている。それにより、スタッフ、メンタル的にも厳しい状況。
106	コロナが恐ろしいから訪問を拒否されたり、中止されたりした。 精神的にも気を遣うストレスになる。
107	感染予防対策が細かく、毎日の事なので業務負担だ。お客様は外に出たり、面会したりが自由にできなくなって長く、職員も日々の生活でも気をつけているため、ストレスを強く感じている。
108	提供地域の利用者の多いデイでコロナ陽性有（スタッフ）。デイ休み、その影響からヘルパーによる入浴追加、ケア依頼があるが、ヘルパーのメンタルから「行きたくない」との声や、依頼があっても人間的に難しく。感染に対して明日は我が身と思い不安も大きくなっている。
109	様々な面からストレスに繋がっていると思う。
110	コロナがこわくてどこへも行けない。会食も旅行もずっとひかえている。もしなったら、利用者や職場の人にどれほど迷惑をかけるか・・・と思うと怖い。

Q 2-2 記述内容	
7. 風評被害関連	
1	特に地方においてコロナ感染者に対する差別が根強い。感染した際の会社への風評被害が心配である。
2	会社の報道での風評。
3	感染=悪と全国で定義されてしまってるふしがある。
4	社名が出ることによるご家族様の対応。
5	現在ヘルパー利用者とも陽性は出ていないが周りの施設などで出ると事業所名が出る。またヘルパーが家族もいるのでコロナ、PCR検査を受けるという言葉に敏感で恐怖で神経質になっている。
6	秋田県ではコロナに感染すると自宅に石を投げられたり、いたずらされたりと、ひどい対応をされることが有り、感染に対してすごく恐怖心がある。
7	必要以上に消毒の要請がお客様よりあるため。
8	田舎なので個人情報がもれやすい。
9	過度に警戒している人と正しく警戒している人との温度差があり業務がやりづらい。
10	実際に職員が感染した場合、どのように対応したら良いのかわかりません。
11	近隣市町村の高齢者施設で感染者が発生すると「お宅ですか？」と聞かれる。
12	コロナの陽性者が出てしまうと、施設名が公表されるが、地域密着型の施設のため近隣の住民の方々へ多大なるご迷惑をかけることとなる為心配。
13	近隣で新型コロナウイルスのクラスターが発生したため。
14	事業所にてコロナ感染が確認され、PCR検査、濃厚接触者の選定等を行い、通常営業が中止されるため他のサービスを手配して代替をもって支援する必要がある。それが多くなりはじめて困っている。どこもコロナで閉鎖的になっている。
15	もしコロナが事業所から出ればと心配になることがある。
16	近くで感染の情報があると、訪問しているご利用者が不安に思っている。ヘルパーが菌を持ってくるのではないかと。
17	人伝にいろいろないじめの話を聞いて恐ろしくなりました。
18	第三社によって間違っただ情報が流れる可能性がある。
19	現在、三原市では感染者4人ということで、この先自分がコロナになり利用者の方に移してしまったら、というメンタル面でしんどい思いがあります。まだ少数人数の感染しかないので風評被害も怖いです。
20	慰労金の件で、会社が新聞やネットニュースに流れたたくさんの知人友人から「ひどい会社だね」と連絡が来たので恥ずかしかった。

Q 2-2 記述内容	
8. 慰労金関連	
1	慰労金はいつ入りますかという問い合わせがよくある。
2	周辺の施設、病院は慰労金を受けとっているが、いつ給付不明の為ヘルパーにも伝えられない。
3	5万円の慰労金がいつ入金されるのか不安。
4	慰労金がいつ入るか分からない。
5	会社の対応が遅く、まだ慰労金が入ってこない。
6	感染ホームが出た時の応援の人員の確保が難しい。施設で感染又は疑いが出た時に職員によっては感染を避ける為休まれるので、出勤できるための危険手当を国が保障してほしい。
7	慰労金ははまだ入金されていません。感染者が多くなってきている現状なので、申請手続きが終了してしまった慰労金の申請手続きを継続、延長して頂けるとモチベーションを保つことができる。
8	コロナの終息が予測できない今、感染予防や施設内に持ち込まない等、気が抜けない。 慰労金はモチベーションアップや励みになる
9	慰労金はいつになるのか？
10	慰労金がもらえていない。
11	いつ、誰がコロナになるかわからない中サービスに入っている私たちに慰労金はまだ入ってきません。
12	風評被害はまだまだあるようだ。介護従事者の労を報うべく慰労金をまたもらっても良いと思う。（海外に比べて高齢者の死者少ない）
13	申請が遅かったのもあるがまだ振り込まれてないというスタッフさんがいる。
14	申請は取りまとめて提出とのことで、いまだに入金されていない。
15	慰労金を頂けるのは大変ありがたいが感染リスク対策にへとへとになってきている。退職を考えることもあり、この状態が続けばいつまでメンタルが保てるか不安。
16	まだもらえていない。
17	この経済状況の中、変わらずサービス提供しているが、相変わらず会社はコスト削減、売り上げしか言わず、スタッフへの労いが感じられない。慰労金がまだ入らない。スタッフ向けの福利厚生は、会社は対応が遅い。医療・介護の方々には一回の慰労金で済ませないでほしい。
18	慰労金が支払われていないし、5万円の一度だけでは、モチベーションが上がらない。常に感染の不安が、全スタッフある。施設での蔓延が不安。
19	8慰労金のの支給に関する情報がない。（いつ頃支給されるのかわからない）
20	慰労金を頂けるのは大変ありがたい。感染リスク対策にへとへとになってきている。退職を考えることもあり、この状態が続けばいつまでメンタルが保てるか不安で仕方がない。
21	慰労金をまだいただけていない。他の会社はもらっている。看護師が不足
22	慰労金がいつ入金されるのか連絡がない。
23	申請を数支店まとめて提出するようにとのことでまとめて提出したが、不備の支店もあり、全体的に申請し直しとなっていると聞いた。
24	慰労金（5万円）はいつ入金されるのかという声が多くあがっている。
25	介護従事者の労を報うべく慰労金をまたもらっても良いと思う。
26	慰労金の申請は行ったがまだもらえていない
27	慰労金の申請は行ったがまだもらえていない慰労金がまだ貰っていない（だいぶ前に誓約書を書いたのですが）
28	会社より旅行等の自粛を職員へ求めるのであれば特別手当を出すべき
29	感染拡大で危機感が増してきて精神的に疲弊してきている。慰労金を継続して支給してもいいと思います。いつ感染するかかわらない中で働いています。
30	看護師の労力が大きく取り上げられていますが、同様に訪問介護士も不安や負担があります。同等の扱いにしてほしいです。
31	いつ支給して下さるのかわからない状況です。
32	慰労金の申請はすでに行っているのに11/23時点でまだ支払われておらずどうなっているのでしょうか。他事業所ではだいぶ前に支払われています。
33	慰労金(5万円)がまだいただけてない。
34	慰労金申請が遅い。
35	衛生用品の不足。慰労金申請に不備有まだ届かない。健康チェックの管理が大変。
36	新型コロナ慰労金はいつもらえるのでしょうか？居宅は対象外ですか。居宅ではないですが、他事業所では支給になった所もあります。
37	慰労金の入金がいまだにない。
38	慰労金がもらえたのはうれしいが、1回だけで終わらせないでほしい。旅行にいけない、県外に行けない、飲み会ができない、好きなアーティストのライブ等も行けない等、プライベートが制限されストレスが溜まっている。仕事柄仕方ないのは分かるがいつまで我慢すればいいのか。



Q 2-2 記述内容	
39	人員不足についてコロナウィルスによる感染予防対策において業務量が増え、運営が思うように進まない部分がある。慰労金でより働きやすい環境にしてほしい。
40	現状でもギリギリの人員配置なのに、クラスター発生などの人員の手配への不安。慰労金を含めた労働に対するペイの薄さ。
41	不安な中仕事をしているので慰労金を支給してほしい。
42	マスクやペーパー類の不足。介護従事者の定期的なPCR検査の必要性。継続的に不安や負担があるのに、一度きりの慰労金では不足。
43	本社がまとめて申請するため手続きに時間がかかる
44	コロナ禍で従事するのに慰労金は必要である。
45	国からの慰労金5万円の申請をしているが、支払われていない。いつ支払われるのか疑問である。
46	慰労金関連は会社に問い合わせたい。
47	国からの5万円が他社では出ているが、自社に於いては何の説明も無い。会社資金繰りとは違うはずなのでその辺はしっかりして欲しい。
48	慰労金について、他の介護施設では既に支払われているのに、わが社ではまだなのは何故ですか？
49	慰労金をまだ受け取っていない。いつもらえるか…
50	給付金いつくれますか？
51	不足の情報がなかった。ずいぶん前に委任状を出しているのに何の報告もない。
52	かなり前に委任状を書いたのに何のお知らせもない。
53	慰労金の対応が遅い。または会社が無関心すぎる。働く人の気持ちに寄り添ってないと思う。
54	慰労金5万円が入金されない。
55	慰労金5万円が入金されず、スタッフから何回も聞かれる。PCR検査を会社でして欲しい。

Q 2-2 記述内容	
9. その他	
1	利用者家族から、会わせて欲しいとオンライン面会は分からないからという理由で、何度も問い合わせがある事と、それについて全スタッフから色々不満があがっている。
2	支店から売上、採用、帳票、残業削減のプレッシャーが大きい
3	訪問介護等のサービス実施する際の線引き、身寄りがない方
4	長く自粛生活をしてる為ヘルパーとのミーティングや慰労会も出来ていない。
5	人員補充。リモートに対応できないヘルパーさんへの対応。
6	頑張っていることに対する対価としてどうなのか?と思う給与。
7	陽性者が出た為、全体的に困っています
8	居宅のモニタリングを拠点で行えない。対応できるPCが支店しかないので困ります。
9	福祉用具では点検になかなか行けない。
10	会社のガイドラインが全く不確実で混乱している。本社及び支店に危機管理能力がなく現場任せで不安でしかない。当然ながら、現場スタッフへの支援など全く期待できない。用品（備品）についてはコロナ渦当初自前で確保しろとの指示のみ、などの現状から。
11	職場の環境。3密を防止する為別室で仕事をしているが、電話機も不足、wi-fi環境が悪いなど。早急にzoom会議研修がスムーズにできる環境にしてほしい。
12	居宅ではお客様からコロナの不安でデイサービスを休む方が出てきている。
13	保健所の対応の遅さ。
14	研修などのリモート（ICT）活用が遅れているため環境の整備が必要。
15	感染対策だけでなく、確認書類が増加しすぎ。・面会がタブレットだったり、フェイスシールドを家族に買ってもらう等、本当に話し合ったのか謎です。現場を知らない人が責任を取らないためにやっているのか。
16	利用者がデイサービスをお休みする回数が増えたために送り出し等の支援のキャンセルが多くなった。
17	施設や病院に入れず営業活動や利用者へ直接会うことが出来ない。
18	利用者宅がコロナ陽性および濃厚接触者になった際に、サービス事業者が支援に入れなくなってしまうことが心配。
19	プラスチック手袋が足りず顧客のニーズに応えられない。
20	以前のように活動できない事で、介護予防の観点から老人のフレイルや認知症の増加がみられている。
21	コロナ関係なく残業をつけられない、毎日サービス残業。
22	スタッフ、利用者がコロナ陽性になった場合の対応方法にストレスを感じている。
23	陽性ではない、濃厚接触者の疑いということで経過観察中の利用者が介護サービスを受け入れてもらえなかった。
24	ケアマネ・・・利用者に会う事が難しい。入院や入所の話がスムーズに進まない。
25	利用者様は県外にいるご家族と会えず職員の中でもお孫さんに会えず淋しい思いをしている方が多くいらっしゃいます。精神的に辛い思いをされている方が多いので。
26	夫婦で収入が減少したので、この前まで行っていた労基等から低金利融資を今こそ復活させてほしい。
27	出来ることを実施して感染者が出たら受け入れて対応するしかない。会社は売り上げを重視しているので蜜は避けられない。
28	月に一回のミーティングをする方がいいのか？ 会議には出席した方がいいのか？
29	コロナにより外出支援がキャンセルでスタッフの給料がほぼ無くなってしまい、遡及で拠点对応している。会社としての補償はしていない。
30	コロナの疑いの人には、ヘルパーさんが拒否してしまう。サービス提供責任者が行くしかない。
31	入居者様のご家族との面会ができていない。
32	感染リスクが他職種にくらべ高いが賃金が低いことが気になる
33	食料品もネットを利用していますが、両方ともに発注しようと思っても在庫がないことも多く困っています。
34	発生者がいないため、現状で困っていることはありません。
35	利用者宅で担当者会議をしないため、CMとの連携がうまくいかない事がある。
36	訪問介護のため、1日手洗いの数多く、手荒れがひどくなってきている。
37	家族の感染予防の意識が低い、「自分達は大丈夫」と過信している人が多く、面会で検温してこない人もいる。
38	やはりコロナ対策が心配です。2,5,8,福祉用具も他サービスと同様に訪問が主体のサービスの為同等にして欲しい!!全国的に福祉用具産業が下降気味であることが心配。業者が多くなったことも原因と思うが、福祉用具の待遇が低過ぎると思います。
39	コロナに関係なく、することが多すぎて対応しきれない。目標100%の稼働率を行い事務処理をすることは不可能です。残業35時間以内も不可能です。
40	従業員の健診の指定医療機関で感染者が出た為、健診実施についてどうすればいいか心配です。
41	不安ばかり見えないウィルス感染に対し、アルコール消毒、手洗い、マスクだけでは不安でストレス。外出、外食を控えて、子供にも会えず我慢、我慢、いつまで。
42	帰省し（他県）など移動が行にくい。
43	コロナの影響でお客さんが少なくなった。
44	食事の時間が二部制になり入居者様の混乱（認知症の進みが早くなった）あり。

Q 2-2 記述内容	
45	コロナ感染の不安から万全な感染予防をしていたとしても訪問拒否になり、十分なアセスメントやモニタリングができない状況があり、どの様に対応していけばいいのか困っています。
46	散歩に行かないこと。
47	病院、施設等も含め事業所間のやりとり、担会やカンファレンス実施が難しい。行えないことがある。
48	ボランティアの受け入れができない。地域交流の機会をもてない。県外家族の帰省が難しく会えないことで様子の把握ができにくい。
49	感染が増えている中で予防着等の配布や支店からの指示もなく、スタッフの中でコロナが出た場合や人員不足の中で業務を行っているが、何も言っていないのはどうなのか？不安になる。
50	予防接種の日程が遅い。もっと早くに実施してほしい。休日労働についての手当をつけてほしい。
51	通常行っている業務ができない。会議・訪問・予防教室等
52	福祉用具は他サービスと違い不定期・突発で訪問するサービスです。不定期ということはお客様の現状を把握できないまま訪問することになります。それゆえ、利用者様が熱を出している家族が濃厚接触者、熱のあるヘルパーが来ている等の事実が訪問してから分かることも少なくありません。自社で情報を持っているならば共有してもらいたいです。が、会社側は個人情報を優先し一切検討してくれません。会社は従業員のことなどは一切考えていないと改めて実感しました。
53	特に困っていることはない。慣れました。
54	担当会議、訪問等が困難となっている。
55	家族様の行動に関しては事業所では把握できず、緊急事態宣言でも出ない限り完全な対策は講じることが難しい。
56	本当は思っているけど言ってもしょうがない。こわくて言えない。が沢山あると思う。常勤のスタッフにはなりたくないと思っ ていると思う。この先年末年始も休みがない。
57	全国的に第3波と呼ばれており、重点要注意地域になっていること。
58	休日対応。PCR検査を家族が希望。対応について、感染した後の対応について不明。感染した後のサービス変更。
59	通常業務が減るわけでもないのに、コロナ関連の事務関係の別業務がそこそこの頻度であるのが結構ストレスになっている。